

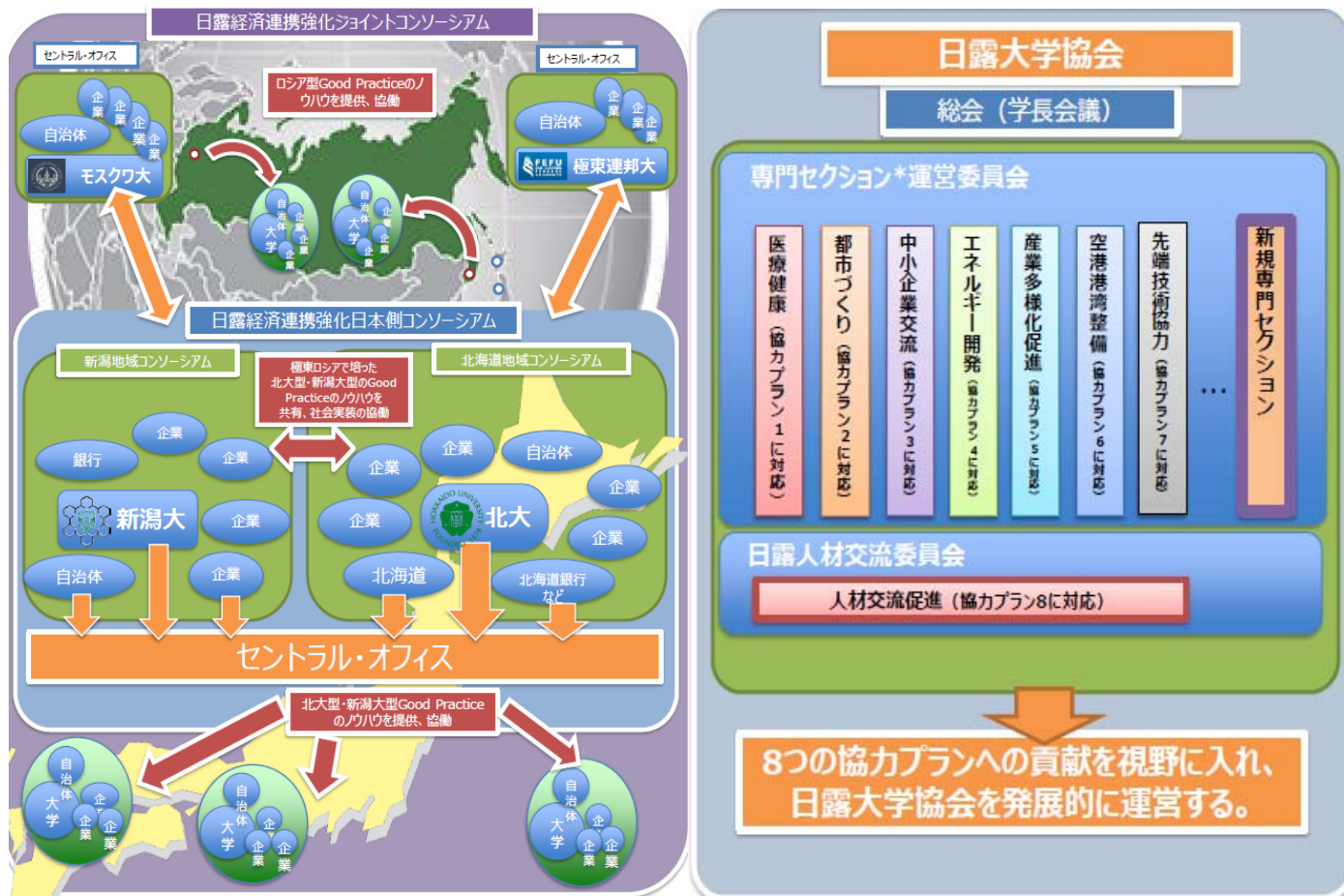
大学の世界展開力強化事業(平成29年度選定) 北海道大学・新潟大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度29年度・(タイプB(ロシア)))

プラットフォーム構築プログラム ～多様なステークホルダーとの対話を重視する日露経済協力に資する人材育成モデルの日本+極東・シベリアからロシア全域への導入プラン～

【事業の概要】

北海道大学及び新潟大学がこれまで実施してきた世界展開力強化事業、RJE3及びG-MedExで培ったネットワークを通じて、大学、地方自治体や地域企業も含む、北海道コンソーシアム、新潟大学コンソーシアムを始動させ、それを中心として、多様なステークホルダーを取り込んだ地域コンソーシアムを他の日露の中核地域にも展開させることで、日露経済連携強化に資する幅広い人材育成と学術振興を目的とした産官学連携のプラットフォームを構築していくことを目的とした取組である。



【プログラムの概要】

日露経済連携強化のため、世界展開力強化事業採択校や日露大学協会加盟校などと協働しつつ、北大型・新潟大型Good Practiceのノウハウの提供と社会実装の協働を行う「日露経済連携強化コンソーシアム」を始動させる。また、プラットフォーム事業の大きな役割の一つは日露大学協会の運営であるが、その日露大学協会によって設立が予定されている「日露共同専門教育機構(仮称)」の設置に向けて、教育の質の保証を行い人材交流の促進を目的とする「日露人材交流委員会」及び平成28年5月と12月の日露首脳会談で提示された「ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協カプラン」で定められている項目に対応する「専門セクション委員会」を立ち上げ、日露幹事校を中心に、取り扱うテーマを決め、それに賛同する研究者が企業や自治体、ロシア側の研究者と連携し、専門人材の育成に取り組み、定期的な研究発表、情報交換を行い、さらには、分野横断的な取り組みを進める。また、これらの活動に参加した卒業生・修了生の同窓会ネットワークを機能的・継続的に運営し、同窓生と日露ジョイントコンソーシアムの活動との継続的な連携を担保していく予定である。

【本事業で養成する人材像】

北海道大学および新潟大学が培ってきた、極東ロシアからロシア全域におよぶ独自のネットワークと実績を基に日本側におけるコンソーシアムとロシア側におけるコンソーシアムを通じて、日露首脳が合意した経済協カプランの8つの項目に貢献する、高度専門家を持続的に育成していく。

【本事業の特徴】

日露間の連携および交流強化を実現するために、諸活動を担う地域エキスパートである高度専門家人材育成に直結した日露共同教育の確立と、その実施支援組織の整備が不可欠であることから、地域コンソーシアムを中心に、既存及び新規プログラムを構築・実施することで得た情報や経験を集約したプラットフォームを構築し、そのモデルを全国の国公立大学と共有していくことである。

1. 取組内容の進捗状況(平成29年度)

【北海道大学・新潟大学】

【事業の名称】(選定年度29年度・タイプB(ロシア))

日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム

(Human Resource Development Platform for Japan-Russia Economic Cooperation and Personnel Exchange)

■ 取組状況

○ 北海道及び新潟における地域コンソーシアムとの連携・設立

- ・北海道地域において、北海道やロシアとの交流のある企業が参画する「北海道・ロシア地域間協力チーム」の会議等において本事業について周知し、協力を依頼。
- ・新潟地域においては、新潟大学と地元自治体・企業等5団体とで協議会を複数回開催し、「日露医学医療交流 コンソーシアムにいがた」を設立することに合意。

(本事業のロゴマーク)

○ 本事業の運営体制の整備

- ・本事業を運営するセントラル・オフィスの機能を日本側(北海道大学・新潟大学)とロシア側(モスクワ国立大学・太平洋国立大学)にて整備することに合意。

○ 日露大学協会の加盟大学の増加

- ・日露大学協会日本側運営委員会や日本の大学を対象にした日露交流に関するアンケートを通じて日露大学協会への参画を呼びかけるとともに、本事業のロシア側幹事校であるモスクワ大学とも協議した結果、日露各4大学、計8大学が新たに本協会に加盟。

○ 学生交流の推進

- ・9月に、東方経済フォーラムに併せた日露学生フォーラムをウラジオストクで開催し、学生フォーラムにおける成果(提言書)を安倍首相に手交(北海道大学、東北大学、モスクワ大学、極東連邦大学が共催。文部科学省が協力)。
- ・11月に、日露青年フォーラムを北海道大学で開催(北海道大学、日露青年交流センター、ロシア国際青年センターが共催)。



〈ウラジオストクで学生フォーラムを開催〉

○ 各大学の日露交流にかかる取組みの情報収集、大学の世界展開力強化事業(ロシア)の取組の普及・展開

- ・大学の世界展開力強化事業採択校、日露大学協会加盟校等に対するアンケート調査や各大学で行われた日露交流にかかるシンポジウム等を通じて、大学における日露交流の情報を収集。
- ・大学の世界展開力強化事業(ロシア)採択校連絡会を開催し、各大学におけるグッドプラクティスを共有し、共通の課題やその改善策などについて意見交換を行うとともに、日露大学協会の活動への参画を呼びかけ。

○ 本事業のホームページの開設

- ・戦略的な国内外の情報発信を進めるため、日本語、ロシア語及び英語でのホームページを開設(<http://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/>)。

○ 人材交流委員会及び専門セクション運営委員会設置に向けた取組の実施

- ・11月に、ロシアとの交流実績のある日本の4大学の教員と人材交流委員会設置に向けての打ち合わせを行い、さらに、1月にロシアの3大学及び日本の10大学の教職員による人材交流委員会準備会を開催。



〈医療健康セクション準備会〉

- ・専門セクションの活動に関連する以下の活動が行われ、産学官の実務担当者間での情報共有・意見交換や交流事業を通して日露交流を推進。

- ①「医療健康セクション準備会」(新潟大学)、②「日露の都市づくりに関するセミナーと意見交換会」及び「都市づくりセクション意見交換会(準備会)」(北海道大学)、③「極東農業ビジネスフォーラム」(千葉大学)、④中小企業交流に係るインターンシップ(近畿大学)

■ 特記すべき事項等

○ 日露大学協会総会(日露学長会議)及び日露学生フォーラムの開催

- ・平成30年5月に「日露経済協力・人的交流に資する人材育成の推進」をテーマとして、第1回日露大学協会総会(第7回日露学長会議)を開催。
- ・日露大学協会総会の開催にあわせ、両国の学生同士が直接交流することによる相互理解と友好関係の構築を図るため、日露学生フォーラムも開催。



〈共同宣言を手にする北大総長とモスクワ大学学長〉



〈総会参加者による集合写真〉

- ・総会の締めくくり、分科会における議論や日露学生フォーラムの話し合いの成果を基に共同宣言が行われ、「人材交流委員会」「学生連盟」「専門セクション運営委員会及び専門セクション」を設立すること、若手研究者をはじめとする学術交流、異分野融合や産学連携を進めること等に合意。